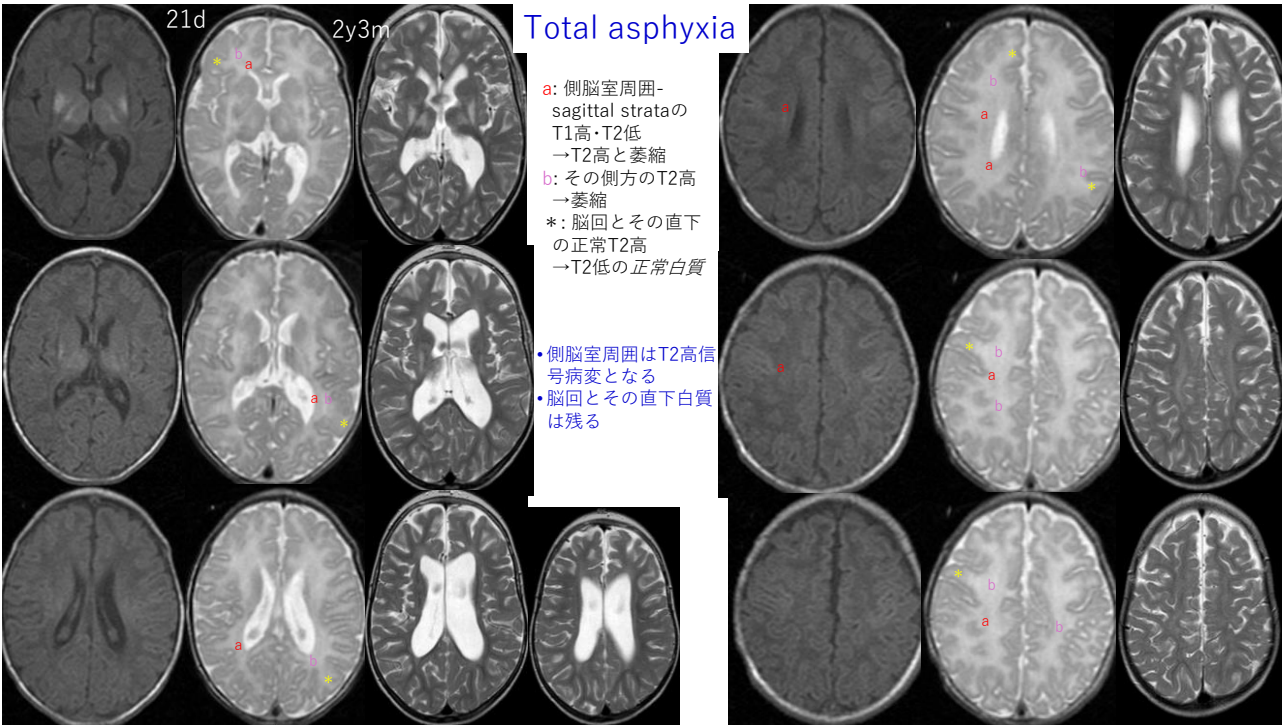




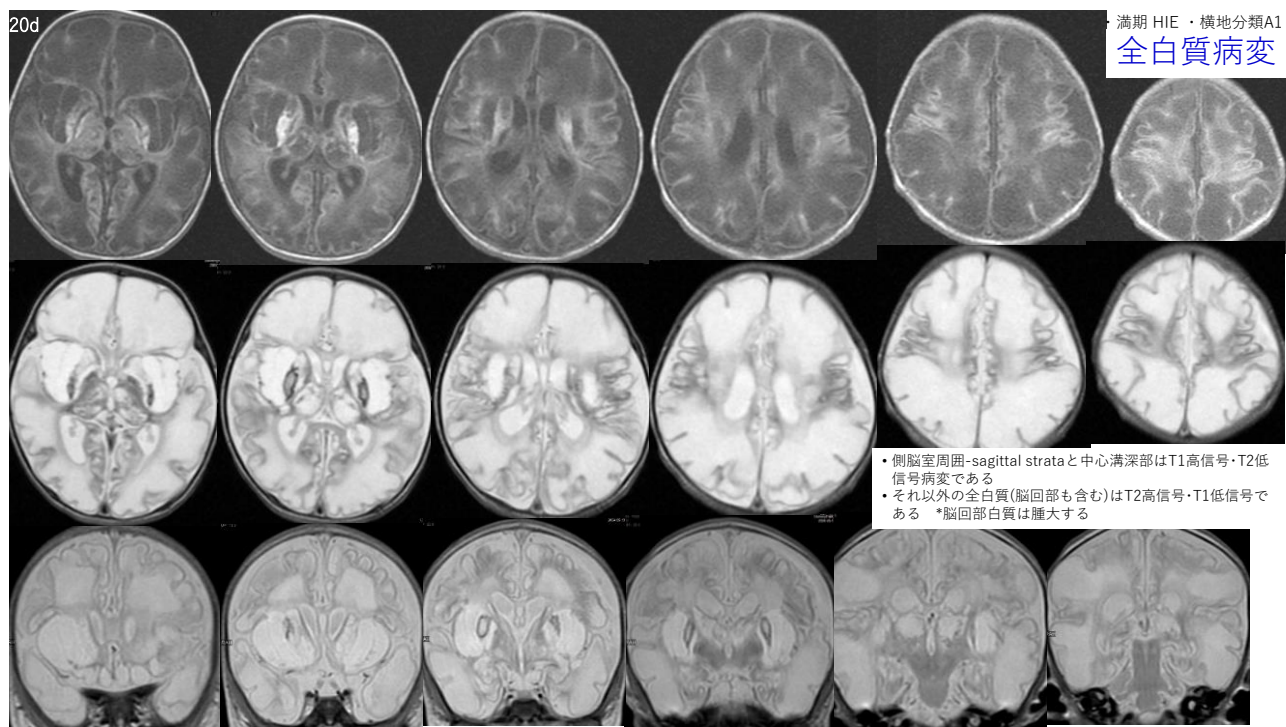
満期産白質障害

横地健治

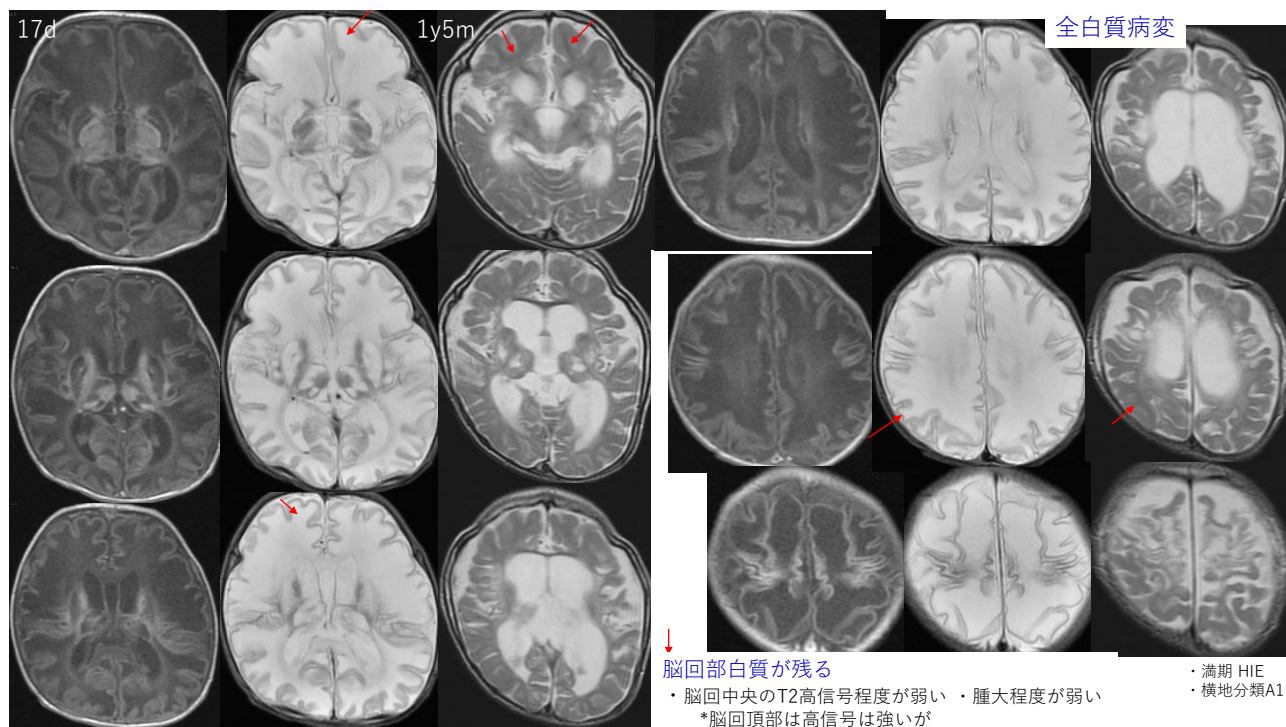
1



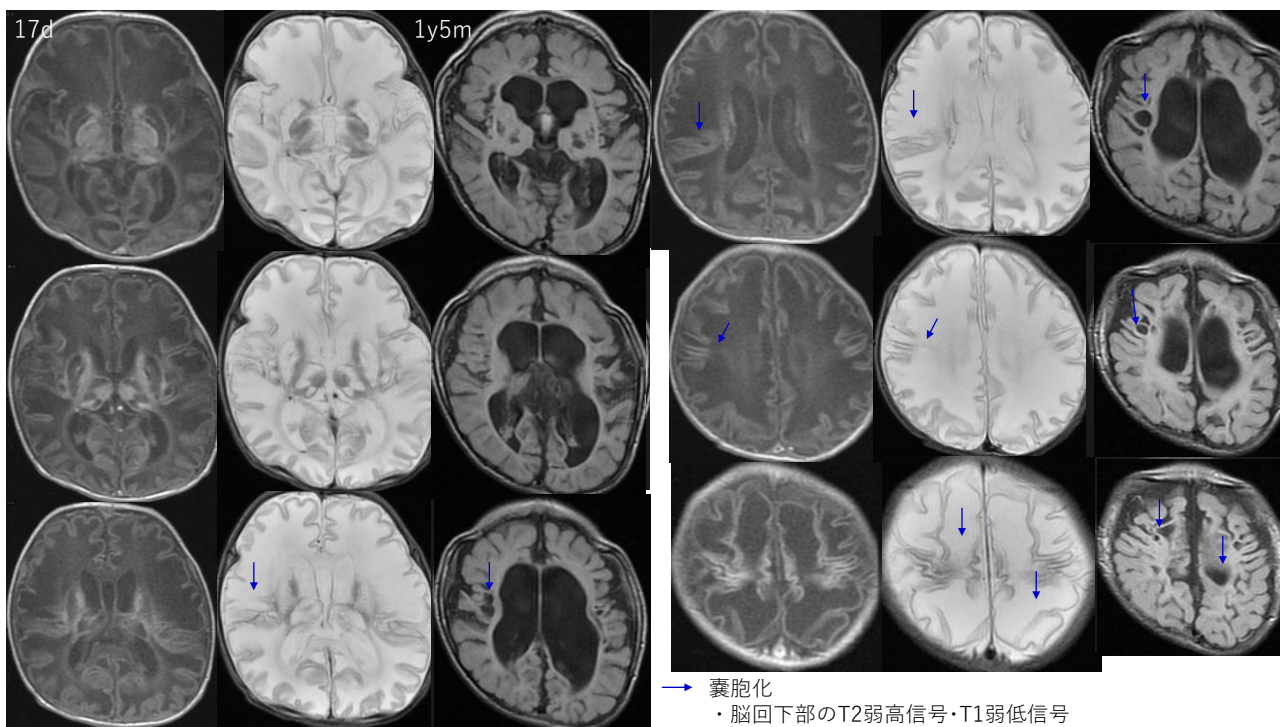
2



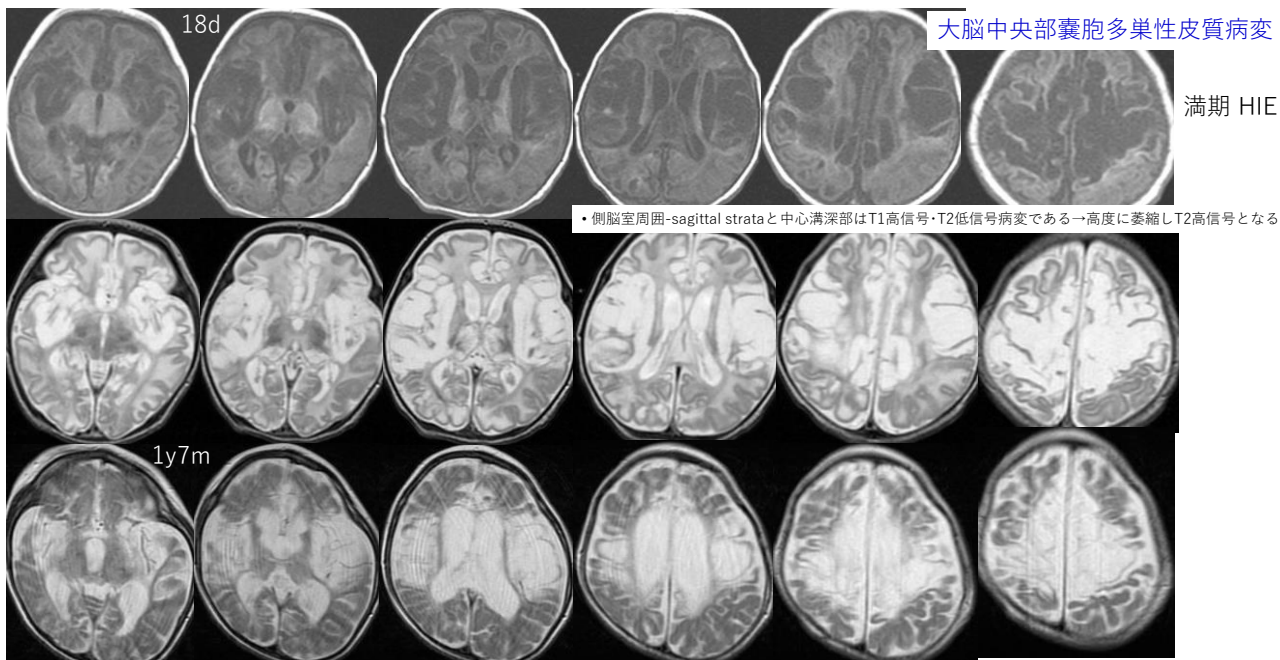
3



4

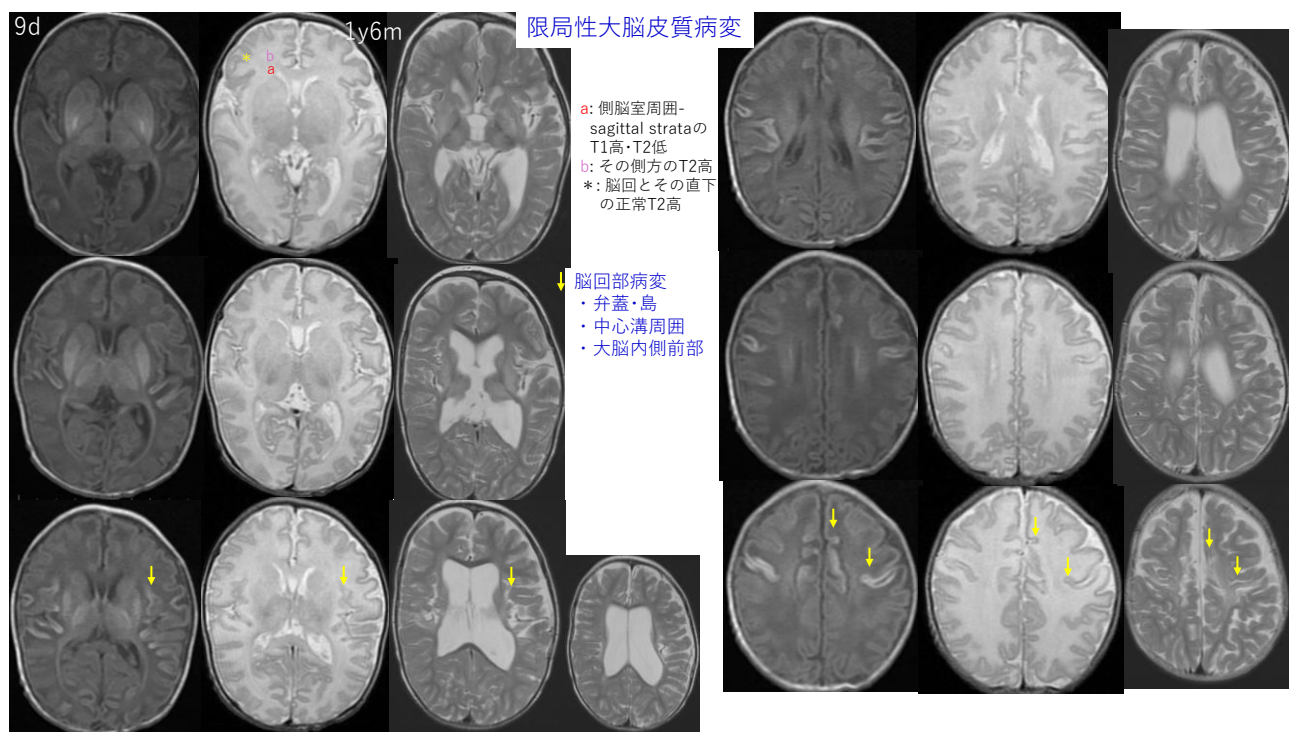


5

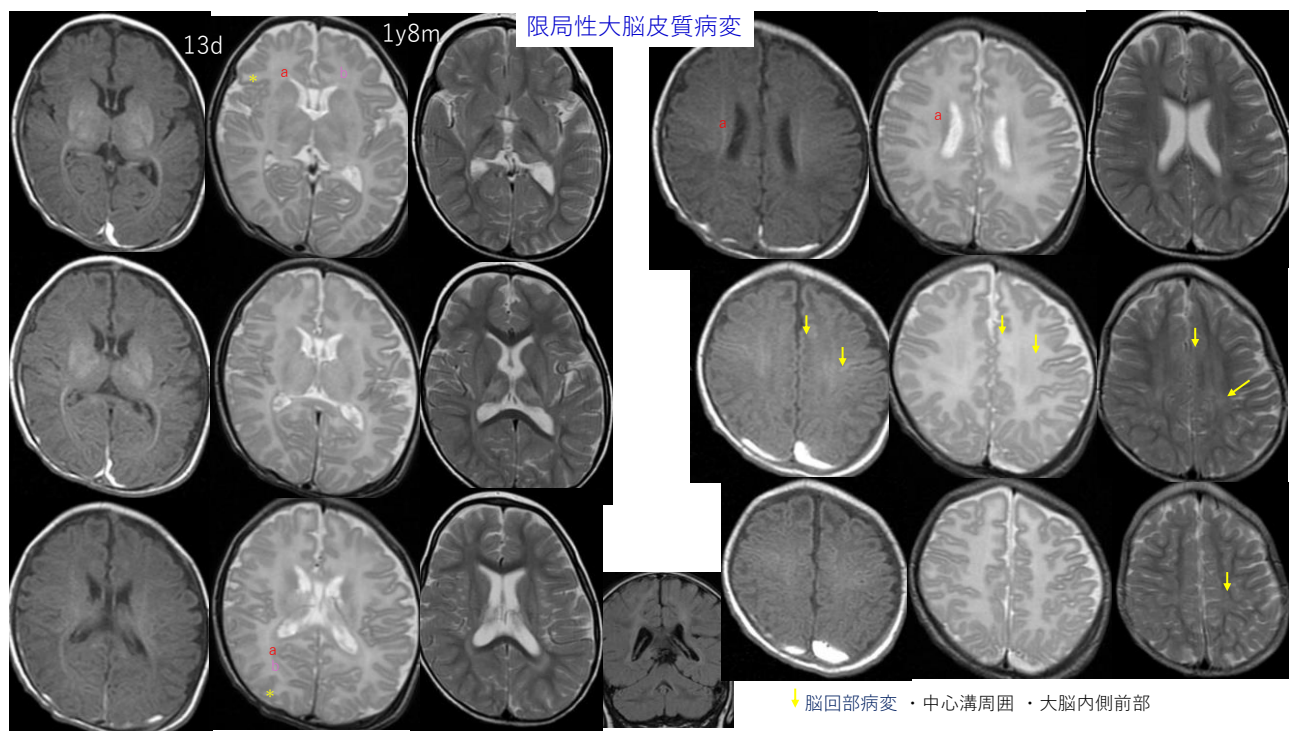


- ・ 中心溝前後脳回 ・ 前後の大脳内側部脳回 ・ 弁蓋部と島部の脳回 ・ 海馬周囲の脳回
この脳回部とその下部白質が一塊となり嚢胞化する
- ・ 内側後頭葉と前下内側頭頂葉の脳回部白質の萎縮はできあがっている *皮質T1高信号はあり
- ・ 左記以外の側脳室隣接部のT1高信号・T2低信号とその側方のT2高信号は、萎縮しT2高信号病変となる
- ・ 脳回内白質が均一T2高信号では、白質が消失するか、T2高信号病変となる

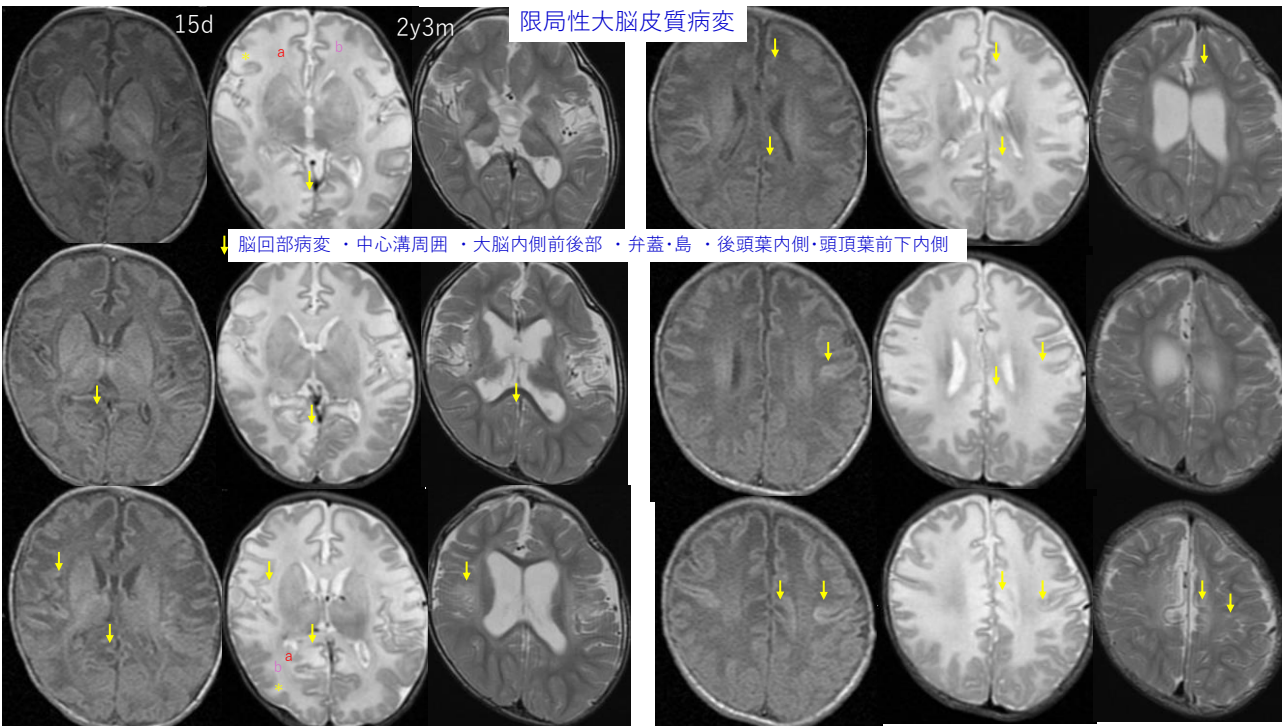
6



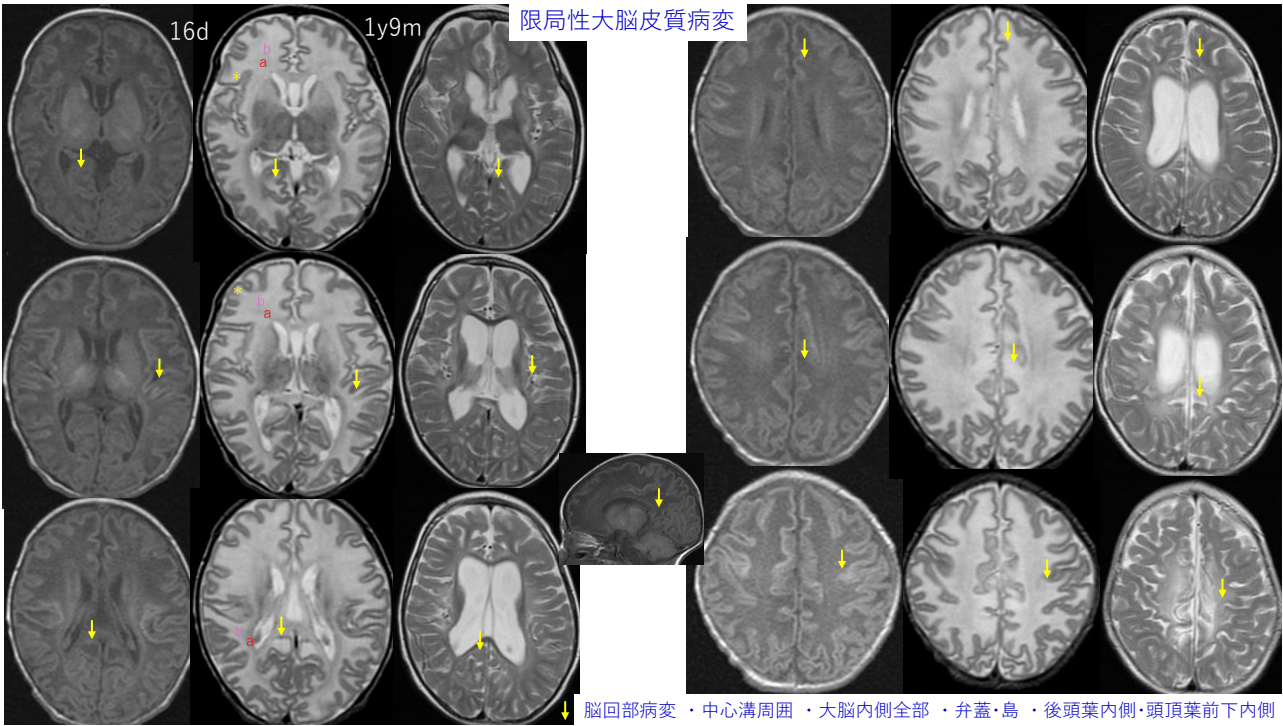
7



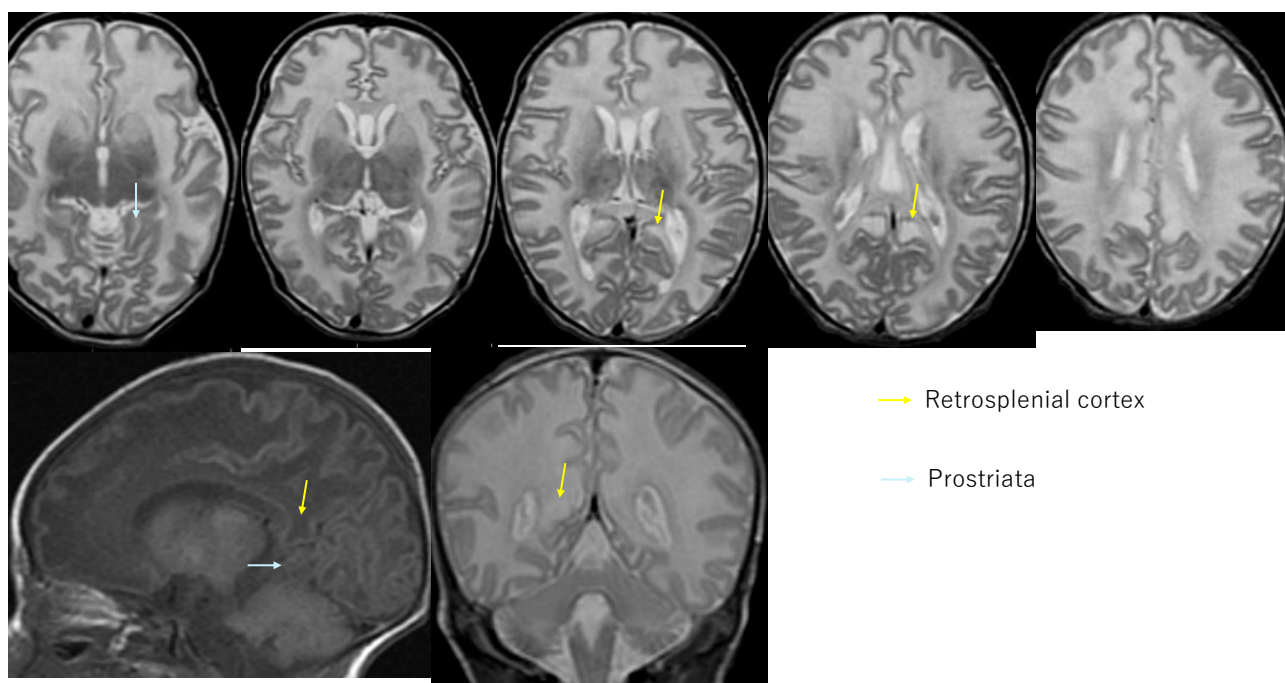
8



9



10



11

満期産白質障害のまとめ

満期産白質の部位別病変

- 側脳室周囲-sagittal strataのT1高信号・T2低信号領域
→萎縮しT2高信号病変
- その側方のT2高信号領域 →萎縮しT2高信号病変
- 脳回T2高信号とその直下の弱T2高信号 →T2低信号の正常白質
* 脳回と直下の強いT2高信号 →白質の消失

多巣性大脳皮質白質病変

- 中心溝前後脳回
- 前後の大脳内側部脳回
- 弁蓋部と島部の脳回
- 海馬周囲の脳回
- 内側後頭葉と前下内側頭頂葉の脳回部

12